

株式会社釧路製作所

北海道釧路市

はばたく中小企業・小規模事業者300社

生産性向上

需要獲得

担い手確保

ものづくり

サービス

橋梁製造からロケット部品供給まで 情報共有を伴った一貫生産で生産効率アップ

鋼製橋梁の設計・製造を主業とし、現在まで北海道内を中心に約200橋の製造を手掛け、過去には瀬戸大橋も施行した実績を持つ。もとは炭鉱鉄道の機関車製造・修理部門から独立した同社であったが、「守りから挑戦する企業へ」をスローガンに橋梁以外の産業機械製造分野にも進出。加えて最近ではロケット開発のベンチャー企業に出資しロケット部品を供給。宇宙開発分野への進出も果たしている。また、東日本大震災を機に自社施設への避難住民の受け入れなどを実施している。

- 所在地 北海道釧路市川北町9番19号
- 電話/FAX 0154-22-7135 / 0154-22-9680
- URL <http://www.kushiro-ses.co.jp>
- 代表者 代表取締役社長 新名 弘人

- 設立 1956年
- 資本金 10,000万円
- 従業員数 76人



生産性向上

100年企業を目指して、橋梁から宇宙へ

「守りから挑戦する企業へ」をスローガンとし、同社は主業である橋梁設計・製造以外にも経営の柱となる新事業に常にチャレンジし100年企業を目指している。鋼製橋梁から培った技術力で製缶製造、大型クレーン製造、水門製造、製紙業向け産業機械製造などの新事業へも積極的に参入。その一環で最近ではロケット分野へも進出し、ロケット発射台の架台を製造、納品した。主業である橋梁を経営の柱としつつも、常に環境の変化や顧客ニーズに対応した多種多様なビジネスモデルを構築している。



ロケット実験架台

タブレット端末を活用した工程データベース化による高品質・短納期実現

同社で製造・架設する橋梁は安全性の観点において設計から製造、施工までを自社一貫生産で行うことが必要である。なかでも仮組立シミュレーションシステムなどのITソフトを活用した自社一貫生産に強みを持つ。加えて「安全に、いつでも、誰でも、簡単に」を実現できるようタブレット端末も活用。過去からの図面、施工法を全てデータベース化し、社内共有できる環境を構築。若年層への技能伝承にも寄与。こうした取組により製品を高品質・短納期で実現。導入前に比べ生産性が20%向上した。



タブレット端末の利用

業務改善、人材の多様化が生み出す労働余力

事務作業やマニュアルなどを紙ベース管理からクラウド管理へ変更し、特定の従業員でしかできなかった作業を改善し従業員スキルを平準化、徹底した「脱属人化」を図り業務効率化を推進。従業員一人一人のスキルを平準化することにより年齢、性別に囚われない人材登用を可能とし、女性技能工の登用や高齢職人の雇用延長、ハンディキャップ人材を積極的に採用。同社の生産性は飛躍的に拡大。年間休日は2017年度実績の105日から2019年度は127日と大幅増。2018年には厚生労働省のユースエール企業として認定され製造業の新3K(多い休日、高い給料、希望)を実現。



東日本大震災ボランティア活動

ものづくり